

辰巳保育所

地域の皆さん 遊びに来てね

辰巳保育所は、現在0歳児から5歳児のお子さま174名が在籍しています。また、公立保育所としては唯一、子育て支援センターと一時預かり保育事業を行っています。

保育所では、子ども一人ひとりに寄り添いながら、よく考え、思いやる心を大切にしたい保育を心がけています。様々な活動を通して、お友達とふれあい、助けても

辰巳台東小学校

夢☆(きらら) チャレンジ

『みんなで学び、みんなで励み、みんなで伸びる東小の子の育成』を大切に夢☆(きらら)チャレンジで文武両道くを学校教育目標として、日々児童の教育に当たっています。

確かな学びの推進のために、放課後や夏休みに辰東小チャレンジクラブを開催し、市原学習サポーターの協力のもと、学習相談や補習、自主学習をしています。

辰巳台西小学校

地域に感謝！ 斜めのつながりを大切に

辰巳台西小の子どもたちは、交通安全推進隊(登下校時の見守り活動)やおとぎの会(読書小フンティア)、公民館の卓球サークル(クラブ活動)などたくさん地域の皆さんに支えられて学校生活を送っています。

最近のニュースを見てみると子どもに関する悲しい事件が多く見られます。家庭では親子や兄弟などの縦のつながり、学校では

地域の皆さんも、子育ての楽しさを分かち合える保育所になりたいと思っておりますので、ぜひ、遊びにきてください。



心身の教育の充実のため、児童会を中心に、毎朝校門に立ち、大きな声であいさつ運動をしています。また、6年生を中心に、朝のボランティア活動で外掃除をしています。



部活動では、今年度サッカー部、男子ミニバス部が地区大会で優勝しました。合唱部はTBSこども音楽コンクール、NHK全国学校音楽コンクール千葉県コンクール、ともに優良賞を受賞しています。



友達同士の横のつながりをもてるようにしていくことが大切ではないかと思っております。しかし、縦と横だけでなく、そこに斜めのつながりが加わることで、子どもたちはよりよく成長していけるのではないかと考えています。その斜めの関係が地域との関係でありま

市原マリア・イン・マリア幼稚園

子育て支援 あゆみの部屋

今回はマリア幼稚園の未就園児クラスをご紹介します。

現在幼稚園は3歳のお誕生日が過ぎたら入園することが出来ます。その前に幼稚園ってどんなところ？お友達と過ごすってどんなこと？お母さんじゃなく先生と過ごすってどんなこと？を体験するために未就園児クラスがあります。

0歳児、1歳児、2歳児それぞれ年齢に合った活動が準備されているクラスに入ると、子供たちはお母さんから離れて生き生きと楽しみ始めます。それは自分で自分を育てる充実した時間です。

一人ひとり個性を持った



白幡小学校

元気いっぱい、花いっぱい

白幡小の「合言葉は？」と児童に尋ねると誰もが「あいさつ・へんじ・そうじ」と答えてくれます。この合言葉は、平成12年度から20年間続けてきました。

児童は、朝登校してくると「おはようございます」、日中廊下ですれ違えば「こんにちは」、下校時は「さようなら」と、元気で明るい挨拶が返ってきます。

授業も「はー、はー」と素晴らしい返事が聞こえます。学校の外壁は少し汚れていますが、中はどこもピカピカです。子供たちが毎日一生懸命に掃除をしている姿に感動します。

今、正門から学校に入ると花壇や鉢に春の開花に向けて着々と準備をしている

たくさんのお花の苗を目にします。パンジー、サクラソウ、ラベンダー等、1000株以上の苗があります。特にサクラソウは昨年のこぼれ種から子ども達が大切に育てました。今年度の卒業式や入学式は花いっぱいの中で行われると思います。ぜひ咲き誇った花々を見学に来てください。



光の子幼稚園

認定こども園になって

光の子幼稚園は4年前から幼稚園型認定こども園になりました。こども園では一号(幼稚園としての入園)二号(3才以上で保育園と同じ利用)三号(1・2才)の子ども達が一緒に過ごしています。小さい子を可愛がる姿も見られ、異年齢の交わりが増えました。二号・三号の子ども達は、

昼食後はお昼寝をします。その間、一号の子ども達は二時まで遊んでから帰宅します。一号でも預かり保育で残る子もいます。二号の子ども達は、お昼寝から起きるとおやつを食べてお迎えまで遊びます。働くお母さんのことを考えて、行事を見直したり、平日の催し物を土曜日にま

辰巳台認定こども園

幼稚園・保育所の良さをもち

辰巳台幼稚園からこども園に移行して2年目になりました。短時間児、長時間児、預かり保育の幼児、と保育時間が様々です。条件は違ってもすべての子ども達が安心して過ごせるよう環境の工夫をしています。挑戦したくなるような遊具や活動、自然を身近に感じ触れられる環境、人

とのかかわりが楽しめる環境など：様々な環境とかかわりながら、学びを積み重ね、遊びの充実を図っていきたいと思います。社会が急速かつ複雑に変化する中で、将来、幼児が自分のもつ力を十分に発揮し充実したよりよい生活を営めるよう、応援していきたいと思えます。

辰巳台中学校

一人一人の大切な人権について

令和元年10月11日(金)に全校生徒を対象とした「人権の大切さを学ぶ講演会」を実施しました。講師はスクールロイヤーの反町弁護士です。全校生徒に対して、「すべての人は基本的人権が守られなければならない」「基本的な人権とは、だれもが生まれながらにして持っている人間らしく生きる権利」「いじめも虐待もその基本的人権を奪う行為であり、法律で禁じられている」ということを身近な例を示しながら、熱意を込めて生徒に語りかけていただきました。

中でもテーマ「いじめを止めるためにあなたができること」で大切なのは、「まずは絶対に加害者にならないこと」と「見て見ぬふりをしないこと」です。この見て見ぬふりをしないことは「千葉県いじめ防止対策推進条例」にも「児童等は、他の児童等に対して行われるいじめを認識しながらこれを放置することがないように努めるものとす」と示されています。

傍観者にならないためには、行動を起こさなければなりません。①相談相手になる。②アンケートを書く。③先生に相談する。④声をかけてあげ(「君は悪くない」「僕は



この様に変った所もありますが、キリスト教に基づいて遊びを大切に保育、一人一人を大切に保育は全く変わりません。



はみかただよ)。さらに、「あなた(みんな)」がいじめを放置しなければ、いじめられてる人を救う方法は必ずあります、と。辰中でもイローフラックにいじめ撲滅のメッセージを寄せ書きし、いじめゼロ宣言をしています。今回教えていただいたことを振り返り、その思いに込めてほしいと強く思います。

